

### ③違法駐輪対策

#### ■違法駐輪に関する取り組みや施策

- 心齋橋地区及び難波地区においては、平成 21 年 10 月 1 日より地元商店会・町会と大阪市の協働のもとで、自転車放置禁止区域が面的に拡大された。
- 違法駐輪の撤去活動やマナー啓発活動についても、地元と行政及び所轄警察の協働により強化実施されている。（例：市民協働型自転車利用適正化事業「トライアルプラン」）

図 心齋橋地区及び難波地区における自転車放置禁止区域の拡大

平成20年度放置自転車撤去実績：約5,620台/年  
(地下鉄淀屋橋駅、本町駅、心齋橋駅の合計)

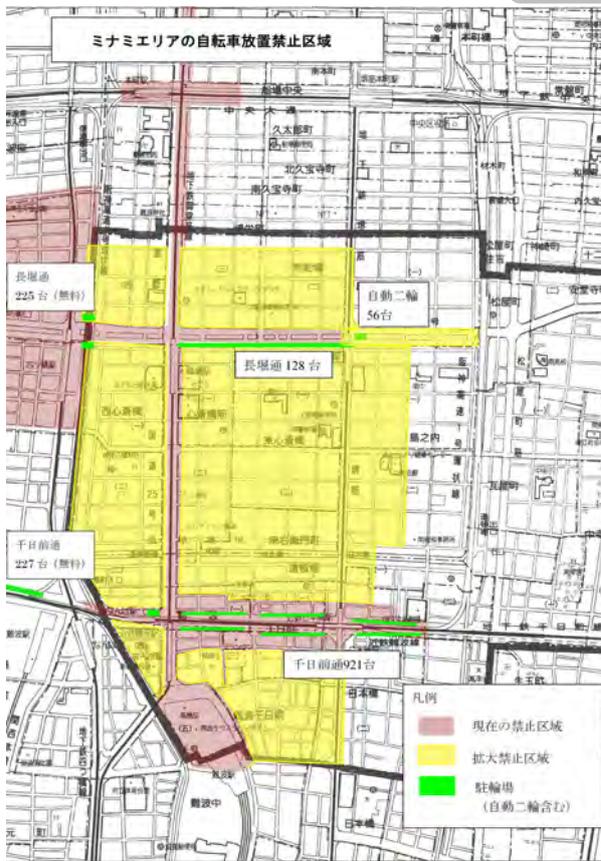


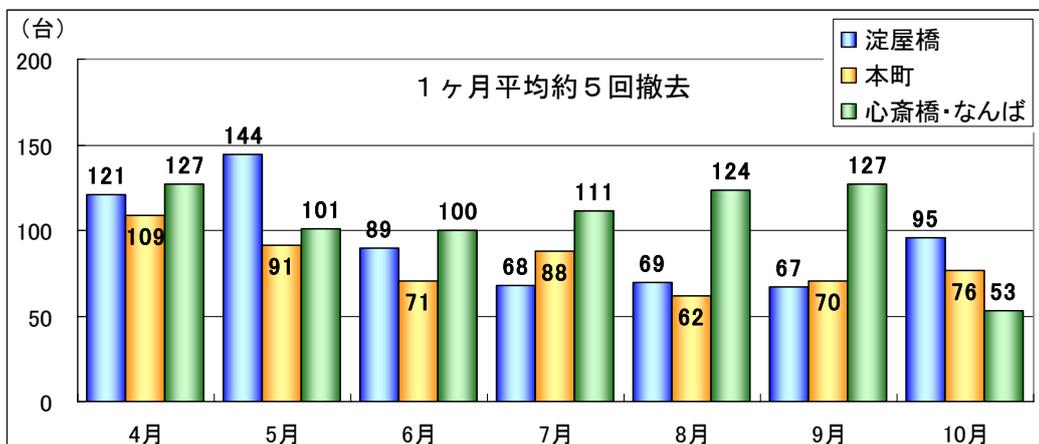
写真 地元と行政及び所轄警察の協働による違法駐輪対策



出典：大阪市 HP

出典：大阪国道事務所 HP

図 平成 21 年度・御堂筋の 1 回当たり自転車等撤去台数



※撤去台数には原付含む

出典：大阪市

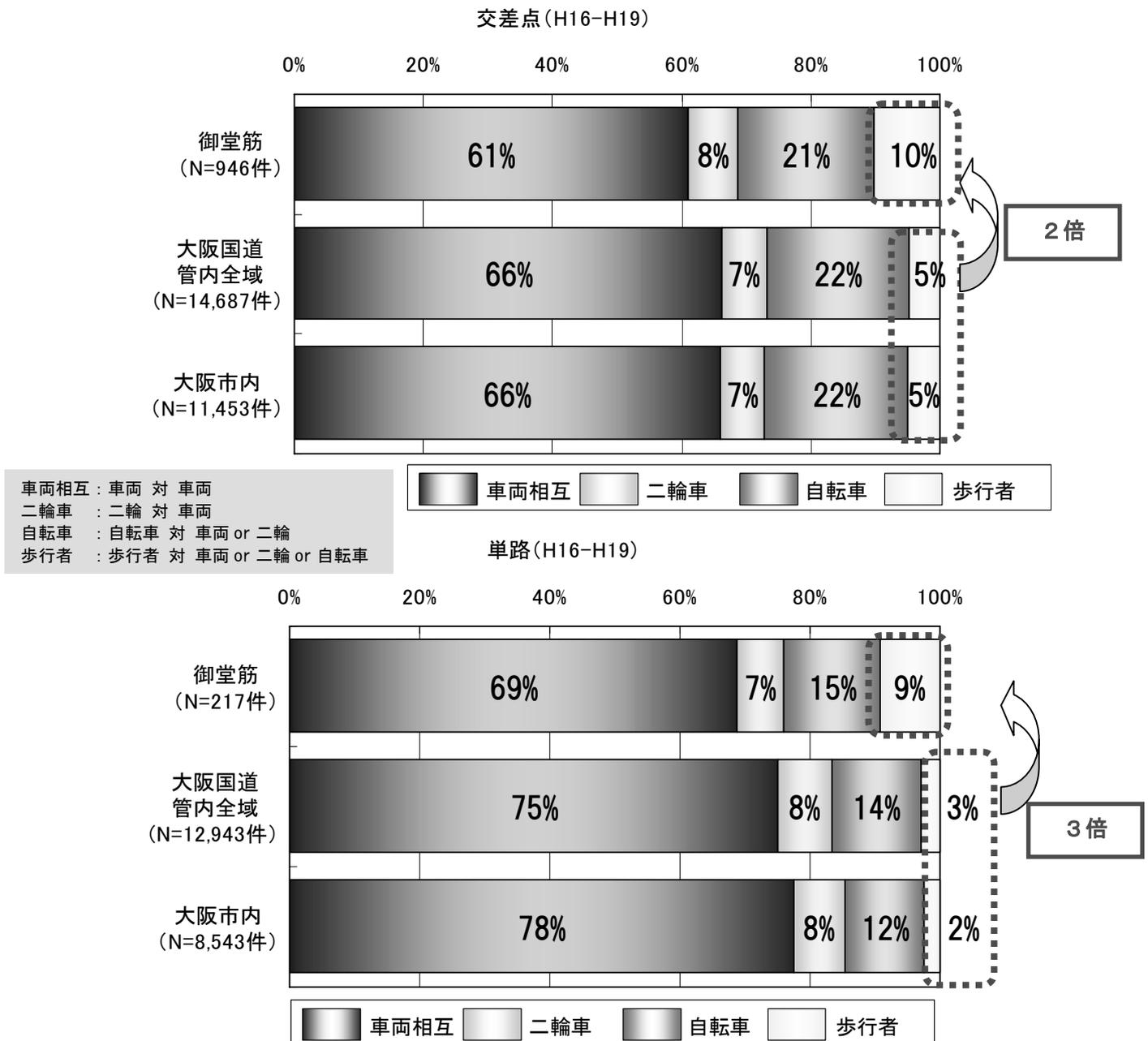
(5) 交通事故の発生状況

- ・ 御堂筋では、歩行者や自転車が当事者となる事故が多い。
- ・ 特に歩行者事故の発生割合は、市内の約2倍以上である。
- ・ 緩速車線では自転車事故の事故が多い。

① 御堂筋の事故の特徴

- ・ 御堂筋は、大阪市内の他の直轄国道と比べて、歩行者と自転車が当事者となる事故の割合が高い。特に歩行者事故は単路部、交差点部ともに、大阪市内の他の直轄国道と比べて、2倍以上の発生割合となっている。

図 交差点部と単路部の状態別事故件数の割合

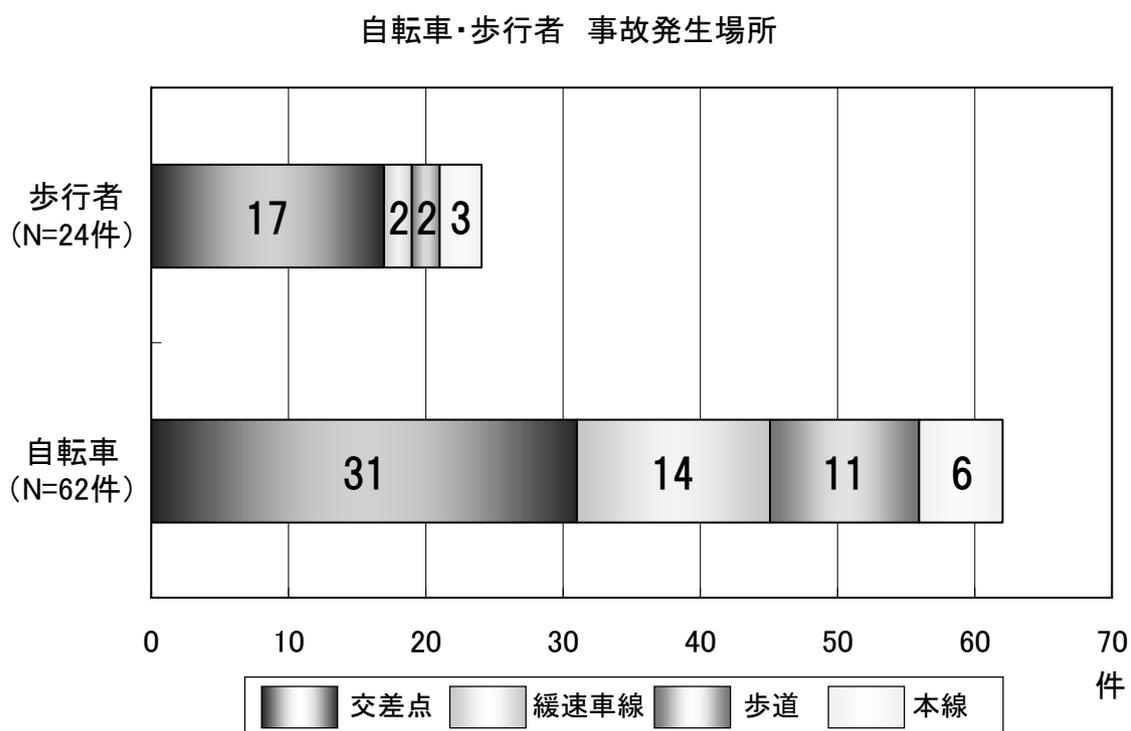


資料：交通事故統計データ (ITARDA)

## ②歩行者・自転車の事故発生状況

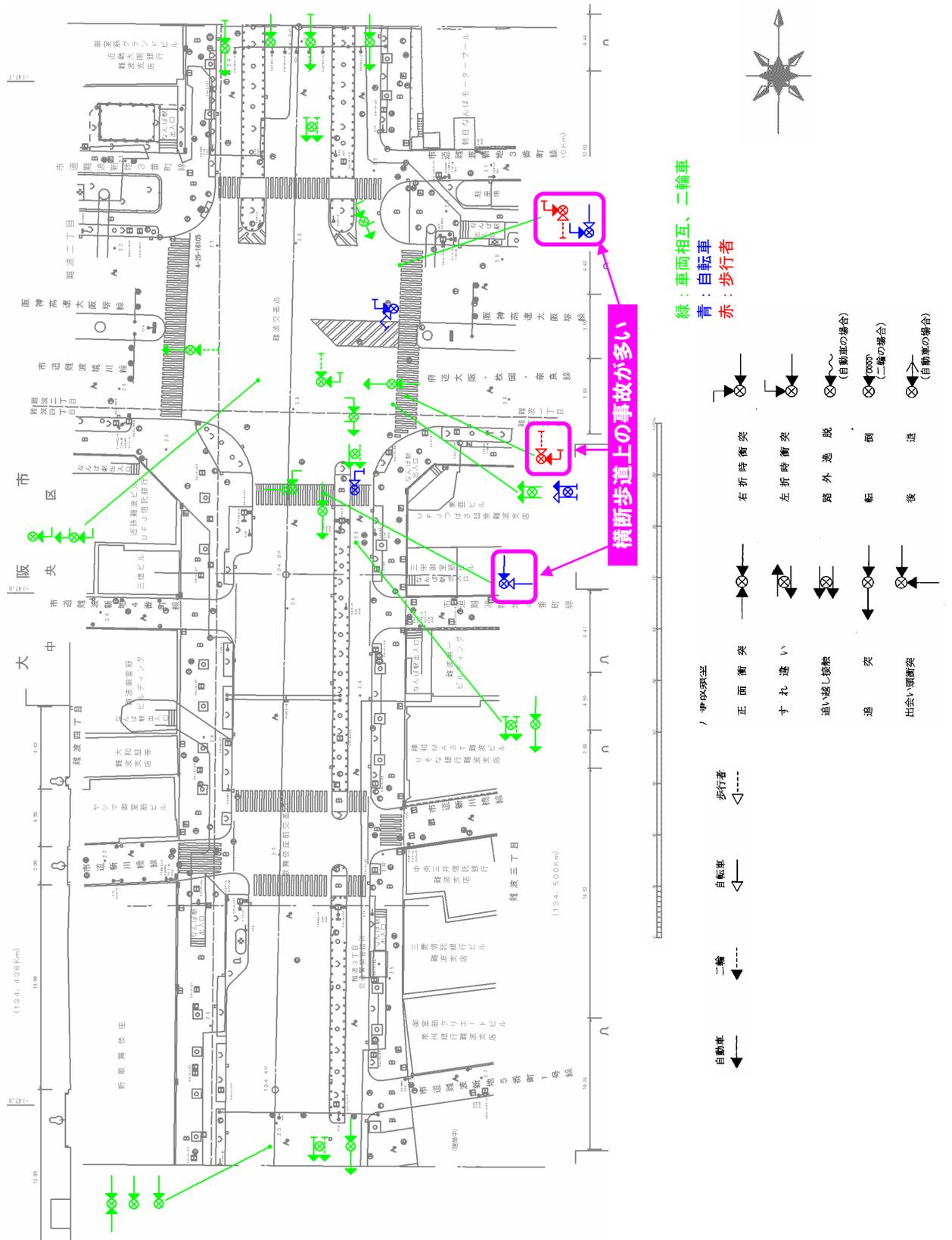
- 歩行者、自転車の事故発生位置に着目すると、交差点部での事故が多い。
- 交差点部での歩行者・自転車事故は、横断歩道上が多い。
- また、自転車事故に着目すると、交差点部の事故に次いで、緩速車線での事故が多く発生している。

図 御堂筋(梅新南～難波西口)の自転車・歩行者の事故発生位置



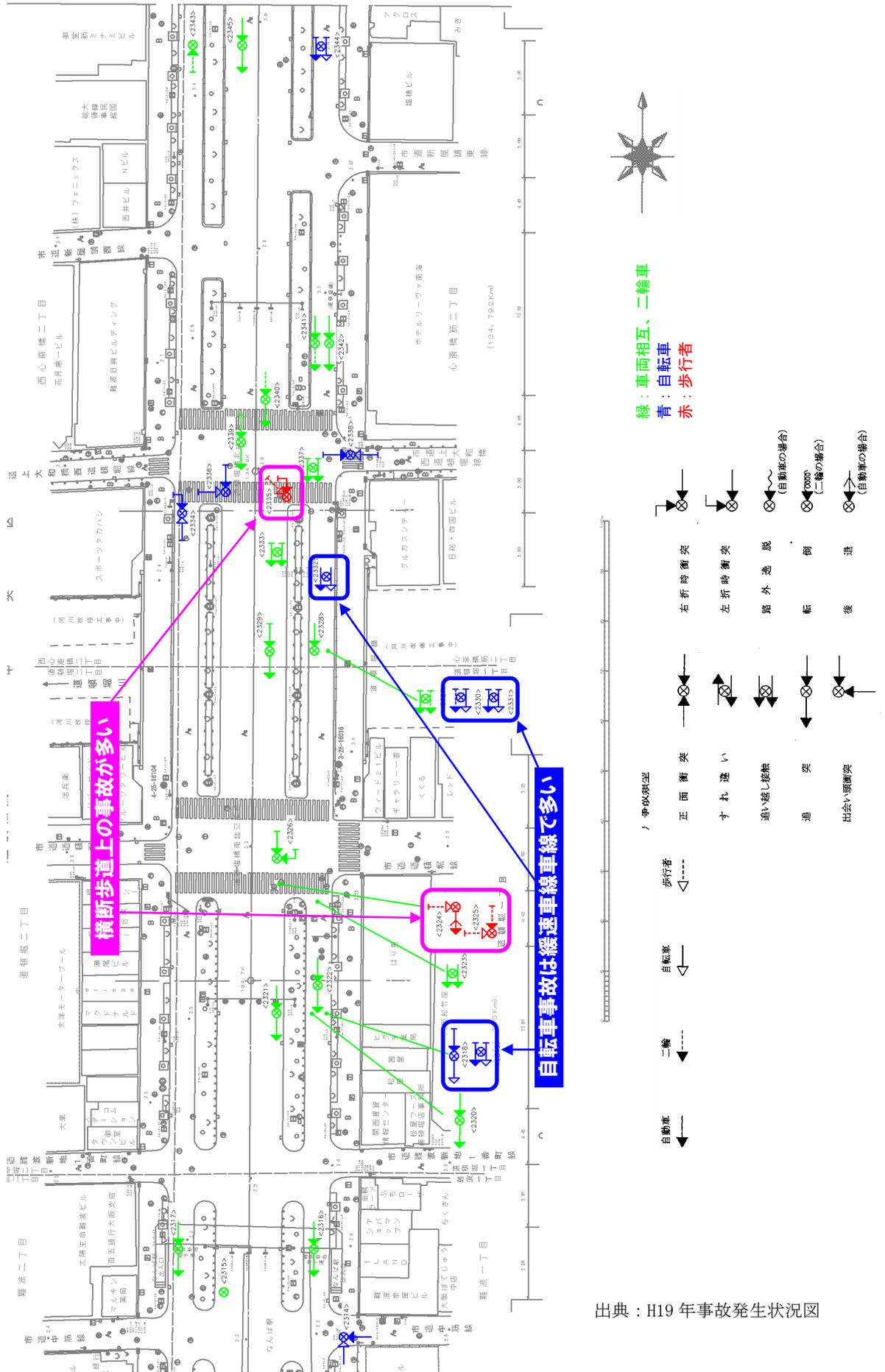
資料：H19年事故発生状況図

図 交差点部での自転車・歩行者の事故発生位置の例



出典：H19年事故発生状況図

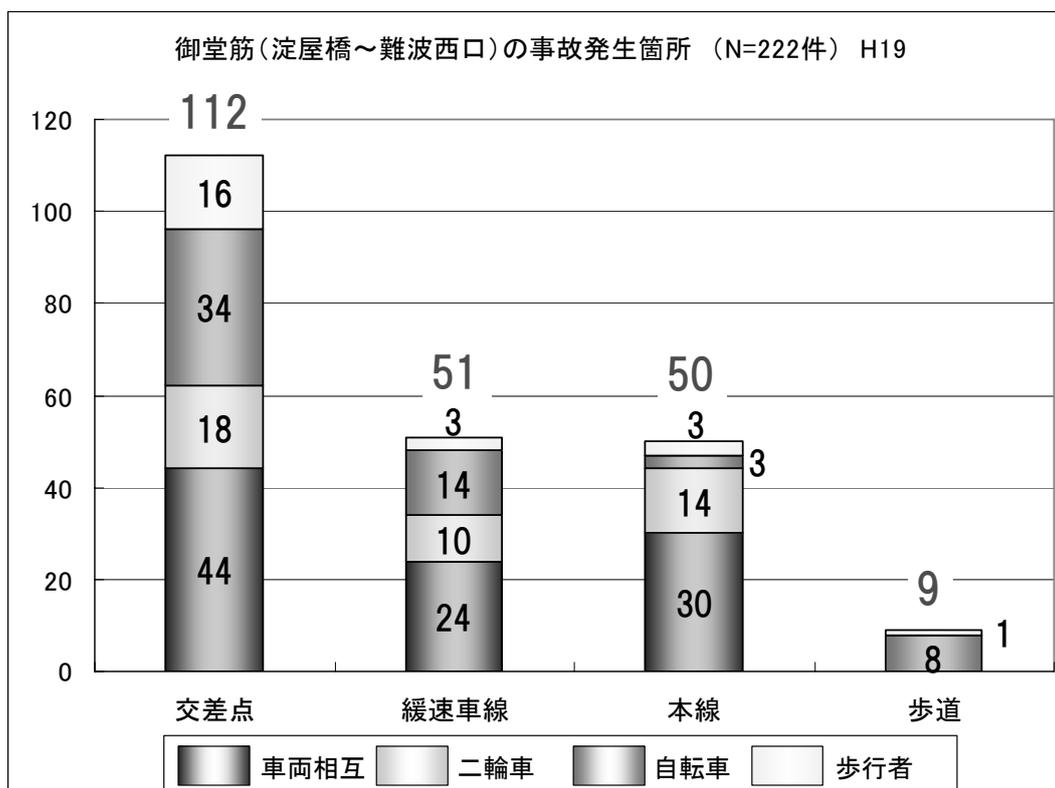
図 単路部での自転車・歩行者の事故発生位置の例



### ③本線、緩速車線別の事故発生状況

- 淀屋橋～難波西口間において、事故発生状況図（H19年）を見ると、車両相互、二輪車事故、自転車事故、歩行者事故ともに事故発生箇所は交差点部が最も多い。
- また、交差点部以外では、本線（4車線）と緩速車線（2車線）での事故発生件数は同程度であり、緩速車線での事故の割合が高い。

図 御堂筋（淀屋橋～難波西口）の事故発生箇所



資料：交通事故統計データ(ITARDA)

車両相互：車両 対 車両  
 二輪車：二輪 対 車両  
 自転車：自転車 対 車両 or 二輪  
 歩行者：歩行者 対 車両 or 二輪 or 自転車

#### ④歩道上の歩行者と自転車の錯綜状況

図 自転車の蛇行運転状況

